



# 開物成務

## 授業研究会が行われました

10月15日（金）、授業研究会が行われました。3年3組菅野先生の算数の授業です。本年度3回目の全体授業となります。「大きい数のかけ算の仕方を考えよう」の授業でした。「1個75円のおかしが、1箱に5個ずつ入っています。2箱買うと、代金はいくらですか」という問題から、3つの数のかけ算について学習しました。授業では、タブレットを活用して自分の考えをまとめ、交流する中で、3つの数のかけ算では、前の2つを先に計算しても、後の2つを先に計算しても答えは同じになることについて、発見し、理解を深めていました。今回使用したアプリは「ロイロノート」です。3年生では、他の教科でも積極的に活用し、使いこなしています。

授業後の研究会では、先生方が活発に意見交換を行い、教育アドバイザーの森山先生から、子どもたちのよさや授業のよさ、次の授業に生かせる助言もいただきました。いただいた助言は全体で共有し、よりよい授業づくりに生かしていきます。

本校は、今年も郡山市の研究推進協力校として「『主体的・対話的で深い学び』を実現する授業づくり」を研究主題に研究を進め、子どもたちに力をつけることができるよう取り組んでいます。

### 【開成小の子どもたちのよさ】

開成小の子どもたちのよさは、たくさんあります。その中の1つに「お互いのよさを認め合える」ことが挙げられます。互いの考えのよさを認め合い、よりよいものを創り上げていこうとする子どもたち。すてきな子どもたちです。



## 開成小のICT活用について

10月15日（金）の3年の算数の授業では、タブレット、大型ディスプレイを積極的に活用していました。タブレットと大型ディスプレイを活用することで見やすく、分かりやすくなり、タブレットを活用することで自分の考えをまとめ、意見の交流が生まれました。自分で考えをまとめる場面では、課題に真剣に向かい合い、意見を交流する場面では、「なるほど」「そういうことね」と納得する声が聞かれました。子どもたちが機器を使いこなす上達ぶりにも驚かされます。

今、子ども一人に1台、タブレットが配当されています。理科や図工で、写真をとって活用したり、国語で、自分たちの発表をビデオ撮影して見直したりするなど、効果的に活用し、学習効果を高め、学びを深めています。

他にも、学年に応じて、タブレットドリル、学習者用デジタル教科書を使用したり、プログラミングで使用したり、様々な場面で活用し、タブレットが学習用具の一部となっています。

